※令和３年度以前入学生用

学校番号	２２０１

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	2	年次	２～４
使用教科書	「書道Ⅱ」　（東書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書道Ⅰの学習を発展させ、幅広い書の表現を学習し、主体的に自己を表現するための書の能力を高める。

2　学習の到達目標

・書道Ⅰの学習を発展させ、さまざまな場面に対応できる書写の能力を養いながら、主体的に自己を表現するための書の能力を高める。
・さまざまな書に親しむ活動を通して、感性を高め、書の文化や伝統について理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	さまざまな書の美に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて理解し、表現を工夫している。	自らの意図に基づいて構想し、創意工夫ある表現の技能を身につけ表している。	日常生活の書の効用、文字及び書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	・学習活動への参加状況や態度。 ・提出作品	・制作プリントの記入状況。 ・提出作品	・制作プリントの記入状況。 ・提出作品	・鑑賞プリントの記入状況

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	篆書 四・五月	・篆書の古典を学ぶ。	○	○	○	○	a: 篆書の美とその表現について関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。 b: 篆書の用筆法を生かし、表現を工夫している。 c: 篆書の用筆法を理解し、表現している。 d: 篆書の変遷を理解し、そのよさを味わっている。	・学習活動への参加状況や態度。 ・制作プリントの記入状況。 ・提出作品
	篆刻 六・七・八月	・刻字の文字の表現。 ・姓名印を彫る。	○	○	○	○	a:篆刻の美とその表現について関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。 b:紙とは異なる書を通じて、その表現を工夫している。 c:印稿・布字を通じて、小筆の技法や空間のバランスを理解し、表現している。 d:篆刻作品を制作し、立体的な書表現について理解する。	・学習活動への参加状況や態度。 ・制作プリントの記入状況。 ・提出作品
	隷書 九月	・隷書の古典を学ぶ。 ・秋季大会参加作品制作	○	○	○	○	a: 隷書の美とその表現について関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。 b: 隷書の用筆法を生かし、表現を工夫している。 c:臨書や鑑賞の学習により、さまざまな書風の隷書古典の用筆、運筆、結構を学び、創意工夫ある表現の技能を身につける。 d:隷書の変遷を理解し、そのよさを味わっている。	・学習活動への参加状況や態度。 ・制作プリントの記入状況。 ・提出作品
後期	行書 十月	・行書の古典を学ぶ。	○	○	○	○	a:行書の美とその表現技法について関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。 b:行書の用筆法を生かし、表現を工夫している。 c:行書・楷書の用筆法を理解し、表現している。 d: 王羲之の書を理解し、書のよさを味わっている。	・学習活動への参加状況や態度。 ・制作プリントの記入状況。 ・提出作品
	楷書 十一月	・楷書の古典を学ぶ。	○	○	○	○	a:楷書の美について関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。 b：楷書の美を理解し、表現を工夫している。 c：楷書の姿勢や用筆法を理解し、表現している。 d:楷書の代表的な古典を理解し、そのよさや美しさを味わっている。	・学習活動への参加状況や態度。 ・制作プリントの記入状況。 ・提出作品
	仮名の書 十二月	・仮名の書の古典を学ぶ。	○	○	○	○	a:平安時代の古筆の変遷を学び、仮名の書の美の特徴を理解する。 b:仮名の用筆法を生かし、表現を工夫している。 c:仮名の書の線質を表現している。 d:仮名の書の学習を通して、日本の伝統文化を理解し、その美意識について考える。	・学習活動への参加状況や態度。 ・制作プリントの記入状況。 ・提出作品
	漢字仮名交じりの書 一・二月	・漢字仮名交じりの書 ・漢字仮名交じりの書の制作	○	○	○	○	a:自らの思いや感動を表現する語句を選び、作品を構想する。 b:今まで学習したものを振り返り、自己の表現の意図を達成するために、漢字や仮名の古典を生かした表現を工夫する。 c:用具・用材、作品の紙面、紙面構成などを工夫し、作品を制作する。 d:近現代の漢字仮名交じりの書の作品を分析的に鑑賞し、理解する。	・学習活動への参加状況や態度。 ・制作プリントの記入状況。 ・提出作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
　　c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。